

# I 経済の活性化

## 5 林業・木材産業の振興

主担当部局(長)名  
農林部長 福谷 健夫

### 目指す姿

県産材の安定供給と利用拡大を図るとともに、森林の有する多面的機能を発揮させるため森林の適切な保全と活用を図ります。

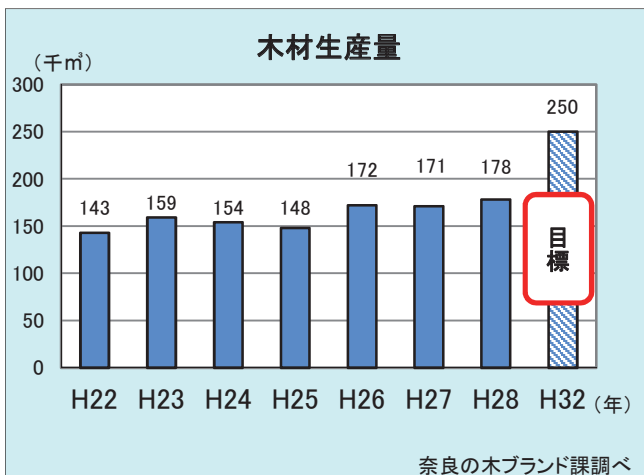


林業の人材育成に関するスイス・リース  
林業教育センターとの覚書締結

### これまでの成果

- ・国が平成23年度より創設した森林環境保全直接支援事業等を活用し、林業事業者の木材生産活動を支援しました。平成28年度は、利用間伐(間伐材を搬出・利用)を59,000m<sup>3</sup>(H27年度:62,000m<sup>3</sup>)出材しました。
- ・県産材のブランド向上に向けて、奈良の木のPR戦略の基盤となるポータルサイト及び話題喚起のためのPR動画を制作しました。
- ・新たな森林環境管理体制を進めるため、平成28年11月に、スイス・リース林業教育センターと林業の人材育成に関する覚書を締結しました。

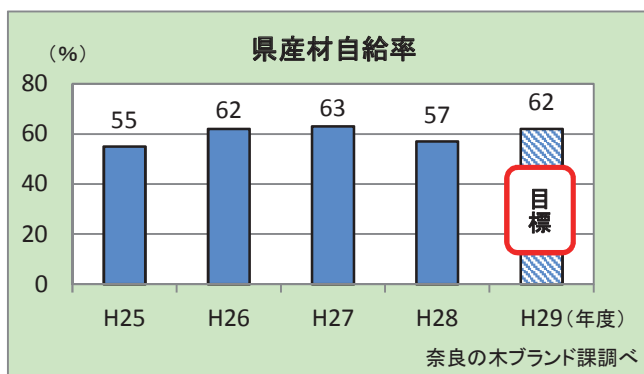
### 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成32年までに、木材生産量を25万m <sup>3</sup> (A材148千m <sup>3</sup> 、B材44千m <sup>3</sup> 、C材58千m <sup>3</sup> )に増やします。(H25年度:14.8万m <sup>3</sup> )
取組	奈良型作業道の整備等への重点支援や県産材を使用した木造住宅建設への支援等を実施しました。
成果	昭和40年代から平成19年にかけて木材生産量は減少の一途でしたが、下げ止まりの様相を見せており、平成26年から増加傾向で推移しています。平成28年は17万8千m <sup>3</sup> と、目標値(H32年:25万m <sup>3</sup> )の約71%の達成率です。

### 2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①平成29年度に、儲かる林業施策提案森林及び第1種木材生産林からの木材生産量を、18千m <sup>3</sup> に増やします。(H25年度:5千m <sup>3</sup> ) ②平成29年度に、県産材の自給率を62%まで向上させます。(H25年度:55%) ③平成34年度に、多面的機能を持った森林整備面積を67,344haを増やします。(H27年度:63,291ha)
------	--



取組	県産材自給率の増加を図るため、県産材の安定供給体制を整備しました。(②)
成果	県産材の安定供給体制の整備により、県産材素材生産量は増加しましたが、特にC材における他県産材入荷量の増加により、県産材自給率は前年度よりも6ポイント減少し、57%となりました。